

平成30年度

教育行政事務の管理執行状況
点検・評価報告書

令和元年12月

新十津川町教育委員会

目 次

■ はじめに	1
1 趣旨	1
2 点検評価の対象	1
3 点検評価の方法	1
4 点検評価結果の構成	1
■ 教育委員会の活動状況	2
1 教育委員会の開催状況	2
2 教育委員会委員の活動状況（抜粋）	2
■ 点検評価の結果	4
【学校教育】	
1 学校教育環境の充実	4
2 学校給食の充実	5
【社会教育】	
1 社会教育活動の推進	6
2 青少年健全育成の充実	6
3 読書活動の促進	7
4 文化活動の促進	8
5 スポーツ活動の促進	8
■ 別添資料 1	
定例会議案及び報告	

はじめに

1 趣旨

町教育委員会では、新十津川町教育目標を基本に「生きる力」を育むため、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を掲げ、家庭、地域及び学校がそれぞれの持てる力を発揮し、相互の連携を図りつつ将来を見据えた教育の推進に取り組んでおります。

こうした取組を進めるに当たっては、各施策・事業が着実かつ効果的に実施されていることを点検・評価することが大切であり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条に基づき、教育行政事務の管理執行状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表するものです。

※ 参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 点検評価の対象

点検評価の対象は、「新十津川町教育目標」を総合的指針とし、その重点的取組を政策の目標として掲げ実施した平成30年度の施策とします。

3 点検評価の方法

点検評価に当たっては、新十津川町行政評価システムに基づき、政策及び施策における成果指標に対し、その進捗状況を明らかにするとともに課題等を分析し、今後の方向性を示します。

4 点検評価結果の構成

政策目標に基づく施策ごとに評価を行います。

(1) 施策の目標

施策ごとの目標を掲げています。

(2) 施策の指標

施策の成果を表す指標を示しています。

(3) 指標の測定方法

指標を測定する方法を示しています。

(4) 目標値及び達成値

目標数値に対する達成数値を記載しています。

(5) 評価

平成30年度の現状を分析し、問題と課題を抽出するなど、施策ごとに評価を行っています。

(6) 施策展開の方向性

評価を踏まえ、今後の取組を進める上で課題や対応の方向性を示しています。

(7) 次年度への重点的取組

教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催状況

会 議	年 月 日	報告件数	議案件数
第4回定例会	平成30年4月20日	6	1
第5回定例会	平成30年5月15日	9	
第6回定例会	平成30年6月12日	6	
第7回定例会	平成30年7月12日	2	
第8回定例会	平成30年8月29日	3	1
第9回定例会	平成30年9月19日	3	
第10回定例会	平成30年10月23日	3	
第11回定例会	平成30年11月27日	2	
第12回定例会	平成30年12月20日	4	
第1回定例会	平成31年1月15日	2	
第2回定例会	平成31年2月21日	7	
第1回臨時会	平成31年3月8日	1	
第3回定例会	平成31年3月26日	5	2
		53	4

※ 定例会、臨時会の議案及び報告の内容を巻末に掲載（別添資料1）

2 教育委員会委員の活動状況（抜粋）

月	日	活 動 内 容	会 場
4	3	教職員辞令交付式	改善センター
	6	新十津川小学校入学式	新十津川小学校
		新十津川中学校入学式	新十津川中学校
	9	新十津川農業高等学校入学式	新十津川農高
	14	新十津川小学校参観日	新十津川小学校
15	新十津川中学校参観日	新十津川中学校	
5	8	新十津川小学校地域参観日	新十津川小学校
6	2	新十津川小学校運動会	新十津川小学校
	8	新十津川中学校体育大会	新十津川中学校
6	20	戦没者並びに物故功労者、消防殉職者追悼式	町内
		開町128年記念式典	町内

月	日	活 動 内 容	会 場
7	5	中空知管内教育委員研修会	砂川市
	12	北海道市町村教育委員研修会	札幌市
7	18	中学生芸術鑑賞事業（「あらしのよるに」）	ゆめりあ
	21	新十津川農業高等学校学校祭	新十津川農高
8	2	学習サポート事業やまびこ	町内
	7	学習サポート事業やまびこ	町内
	8	学習サポート事業やまびこ	町内
	9	学習サポート事業やまびこ	町内
	29	教育委員学校訪問	小学校・中学校
		新十津川小学校地域参観日	小学校
	30	小学生芸術鑑賞事業（「ひのき屋のわいわい音楽隊」）	ゆめりあ
9	11	新十津川中学校学校祭	新十津川中学校
10	6	新中吹奏楽部第35回定期演奏会	ゆめりあ
	13	平成30年度新十津川町社会福祉大会・福祉のつどい	ゆめりあ
	20	町民音楽祭	ゆめりあ
	21	新十津川小学校学芸会	新十津川小学校
11	2	町民文化祭（展示部門）（～4日）	改善センター
	4	町民文化祭（芸能部門）	ゆめりあ
	13	しんとつかわ通学合宿（～17日）	町内
12	4	新十津川小学校5年生収穫祭	新十津川小学校
	11	新十津川町「仲間づくり子ども会議」	改善センター
	26	学習サポート事業やまびこ	町内
	27	学習サポート事業やまびこ	町内
1	7	学習サポート事業やまびこ	町内
1	13	平成31年新十津川町成人式	ゆめりあ
3	1	第67回新十津川農業高等学校卒業証書授与式	新十津川農高
	13	第49回新十津川中学校卒業証書授与式	新十津川中学校
	19	第10回新十津川小学校卒業証書授与式	新十津川小学校
	26	退職・転出等教職員の感謝と激励の会	改善センター

点検評価の結果

【学校教育】

政策の目標

児童生徒一人ひとりの実態に応じた学習指導により「確かな学力」
「豊かな心」「健やかな体」を目指し、生きる力を育む

1 施策名 「学校教育環境の充実」

(1) 施策の目標

家庭、地域及び学校が連携を図りながら教育環境の充実に努め、「確かな学力」
「豊かな心」「健やかな体」など、子ども達の「生きる力」を育む。

(2) 施策の指標

標準学力検査（N R T）結果が前年度の点数を上回る科目の割合

(3) 指標の測定方法

標準学力検査の結果

(4) 目標値及び達成値

平成30年度目標値 90.0パーセント

平成30年度達成値 78.6パーセント

(5) 評価

ア 現状と分析

小学3年生から中学3年生の7学年中、国語が6学年、算数・数学で5学年が
前年度を上回っている。町民アンケートの重要度、満足度ともに平均値以上で、
町民の関心度は高い。

イ 問題・課題点

基礎基本的な学習内容の定着化を進めるため、家庭における学習習慣の定着化
やテレビやゲームの時間短縮、十分な睡眠時間の確保など生活習慣の改善ととも
に、新学習指導要領に対応する環境の整備が必要である。

(6) 施策展開の方向性

ア 基礎的な知識や技能に加え、学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力など幅広い学
力を育てるため、学習支援サポート、学力向上推進講師の活用や長期休業中のや
まびこを継続し、きめ細かな学習指導を行う。

イ ICT環境の充実

ウ 英語強化に向けての教職員の研修の充実

エ コミュニティースクールの推進

オ 子ども一人ひとりの教育ニーズを把握した適切な指導と必要な支援

カ 遠距離通学費助成の継続

(7) 次年度への重点的取組

- ア 実施設計に基づく小学校敷地の整備
- イ プログラミング教育の環境整備
- ウ 外国青年2名体制による外国語授業の推進
- エ コミュニティスクールの推進
- オ 小中学校の接続と高校との連携
- カ 郷土愛を育む教育の実践

2 施策名 「学校給食の充実」

(1) 施策の目標

新鮮で安全・安心な町の農産物により学校給食の充実を図ると共に、学校給食を
生きた教材として活用し、正しい食習慣の指導など、「食育」の推進に努める。

(2) 施策の指標

学校給食における生鮮野菜の町内産使用割合（重量ベース）

(3) 指標の測定方法

全体における町内産使用重量

(4) 目標値及び達成値

平成30年度目標値 41.0パーセント

平成30年度達成値 43.5パーセント

(5) 評価

ア 現状と分析

新鮮で安全安心な生鮮野菜を食材として使用し、地産地消を積極的に推進する
ため、町内や雨竜町産農産物などを取入れた学校給食の提供に努めている。

また、栄養バランス、個々に必要な摂取エネルギーを学ぶことのできるバイキ
ング給食や郷土の食文化を活かした美味しい給食、満足の得られる給食の提供の
ほか、食への理解を一層深めることができるよう、各学年に応じた食育学習を行
っている。

現在給食費の未納者はいない。

イ 問題・課題点

地元の生産者団体や農業高校等と連携し、町内産使用重量の目標値は達成して
いるが、本町の作目や年度ごとの生育状況、また収穫時期と給食提供時期の違い
などにより、メニュー構成や使用割合の増加について検討が必要である。

(6) 施策展開の方向性

ア 引き続き地元で栽培された生鮮野菜や、地元の加工品を中心に使用した学校給
食を提供し、地産地消を図る。

イ 学校給食アンケートの結果から、給食の時間は学校における楽しみな時間の一
つとなっている。温かくおいしいバリエーションに富んだ学校給食を提供すると
ともに、食育の推進を図る。

ウ 調理員が学校を訪問し児童と交流を深める「おにぎり給食」を今後も実施する
など、食事の大切さや楽しさなどを伝える。

(7) 次年度への重点的取組

食育学習の推進と地産地消及び郷土の食文化を取り入れた学校給食の提供。

【社会教育】

政策の目標

それぞれの年代に応じた学習機会を提供し、住民一人ひとりが生涯にわたって自ら学び、自己実現を図ることができる環境づくりに努める。

1 施策名 「社会教育活動の推進」

(1) 施策の目標

住民一人ひとりが生涯にわたって自主的に学ぶことができるよう、年齢や学習ニーズに合った学習機会の提供に努める。

(2) 施策の指標

体験学習事業（社会教育関連）の参加率（パーセント）

(3) 指標の測定方法

参加者/募集定員（パーセント）

(4) 目標値及び達成値

平成30年度目標値 70.0パーセント

平成30年度達成値 84.3パーセント

(5) 評価

ア 現状と分析

町民アンケートでは、重要度及び満足度は7割程度で安定している。団体会員の高齢化により、活動が縮小されることが危惧される。子供を対象とした体験講座は高い参加率を保っている。

イ 問題・課題点

生涯にわたって自主的に学ぶ機会の推進と、各種団体の支援が必要となっている。

(6) 施策展開の方向性

ア 各団体や各委員と社会教育グループとの連携により、生涯学習のきっかけづくりとしての体験事業の開催や情報提供を進める。

イ 女連協等各団体の指導や支援を行う。

ウ 高齢者の生きがい活動の把握と令和3年度に向けた準備を進める。

(7) 次年度への重点取組

ア 130年記念事業（NHKイベント事業等）の実施

イ かぜのびの防虫対策

ウ 高齢者生きがい活動の把握及び準備

2 施策名 「青少年健全育成の充実」

(1) 施策の目標

学校、家庭、地域住民等が互いに連携・協力し合い、地域における子どもの見守り体制を整えるなど、青少年の健全育成に努める。

- (2) 施策の指標
青少年の健全育成に対する満足度
- (3) 指標の測定方法
住民アンケートにおける、高い、やや高い、ふつうの回答の割合（パーセント）
- (4) 目標値及び達成値
平成30年度目標値 77.0パーセント
平成30年度達成値 77.0パーセント
- (5) 評価
 - ア 現状と分析
町民アンケートでは、重要度及び満足度は前年度に比べやや減少している。子ども会育成者連絡協議会や青少年健全育成町民会議、少年団活動を中心とした取組を実施している。
 - イ 問題・課題点
子ども会新規会員の勧誘や会員の確保のための工夫はしているが、役員の担い手不足や少年団活動の活発化など状況として厳しくなっている。
- (6) 施策展開の方向性
 - ア 青少年の健全育成活動や子どもの見守り活動など、学校、地域、行政が一体的に連携を図れるよう青少年健全育成町民会議の活動を中心とした各種の取組の支援を進める。
 - イ 子ども会の運営状況の把握、活動の支援を行い、子どもを持つ親の興味や理解を高めていく。
- (7) 次年度への重点取組
コミュニティスクールとの関連を整理し、青少年の健全育成に関わる団体と連携する。

3 施策名 「読書活動の促進」

- (1) 施策の目標
子どもの活字離れ、読書離れ、住民の図書館利用の減少が見られることから、本に親しむ環境の整備を進め、住民の読書習慣の定着に努める。
- (2) 施策の指標
住民の利用率（冊）
- (3) 指標の測定方法
町内貸出冊数/人口
- (4) 目標値及び達成値
平成30年度目標値 6.5冊
平成30年度達成値 6.9冊
- (5) 評価
 - ア 現状と分析
町民アンケートでは重要度は平均値を下回り、満足度は平均値を上回っている。多くの町民に利用してもらうため、読書に親しむための機会の提供、啓発事業を実施している。町民の利用者数及び貸出冊数は減少したが、町民1人当たりの貸出冊数は、目標を上回った。

イ 問題・課題点

図書館利用が楽しめる仕組みづくりや、幼児期における読書活動機会の充実が必要である。読み聞かせボランティアが不足している。

(6) 施策展開の方向性

ア 利用者全体が楽しく快適に利用できる図書館運営に取り組む。

イ 絵本ふれあい事業を中心とし、幼児期の読書活動の充実を図る。

ウ 施設設備の良好な管理を継続する。

エ 子どもから高齢者まで幅広くPRするため、町広報紙や図書館だよりを活用する。

オ 読書通帳の有効性をPRし、図書館利用者の増加を図る。

(7) 次年度への重点取組

第3期子どもの読書活動推進計画に沿った読書習慣付けと読書環境の充実を図る。

4 施策名 「文化活動の促進」

(1) 施策の目標

住民が主体的に取り組む芸術・文化活動を支援すると共に、住民に感動を与える芸術・文化の鑑賞機会を充実させ、豊かな心を育む。

(2) 施策の指標

文化事業に対する満足度（パーセント）

(3) 指標の測定方法

町民アンケートにおける、高い、やや高い、ふつうの回答の割合

(4) 目標値及び達成値

平成30年度目標値 77.0パーセント

平成30年度達成値 76.0パーセント

(5) 評価

ア 現状と分析

町民アンケートでは、重要度及び満足度は前年度に比べてやや増加している。

文化祭、音楽祭への参加者や鑑賞者の新規掘り起こしが必要で、鑑賞事業の来場者が固定化の傾向にある。

イ 問題・課題点

各文化団体活動が新規会員の入会不足により低迷傾向にある。幅広い住民が鑑賞事業に来場できるように、開催内容を工夫していく必要がある。

(6) 施策展開の方向性

ア 魅力ある芸術鑑賞事業の選定

イ 文化団体の活動状況の把握と支援の継続

5 施策名 「スポーツ活動の促進」

(1) 施策の目標

年齢や体力に応じた様々なスポーツの機会の提供と施設の充実を進めるとともに、各種事業の開催やスポーツ団体の育成に取り組み、生涯スポーツの振興に努める。

(2) 施策の指標

スポーツ大会、体験等の参加率（パーセント）

(3) 指標の測定方法

参加者/募集定員

(4) 目標値及び達成値

平成30年度目標値 75.0パーセント

平成30年度達成値 78.7パーセント

(5) 評価

ア 現状と分析

町民アンケートでは、前年度と比較して重要度及び満足度は、やや減少傾向にある。

少子高齢化の影響もあり、体育協会加盟の既存スポーツ団体の活動は停滞傾向にあるが、スポーツクラブの活動が活発になっており、チャレンジスポーツ、ニュースポーツなどへの参加率が高くなっている。

イ 問題・課題点

一・一運動（全町民が一日一回の運動をすること。）の普及促進のためには、体育協会と連携し個々のニーズに合った運動やスポーツの提供が必要である。

積極的にスポーツに取り組んでいる人と取り組んでいない人の2極化が進んでいる。

(6) 施策展開の方向性

ア 誰もが年齢や体力に応じて手軽にスポーツ活動に取り組むことができる機会を効果的に提供する。

イ 体育協会等と連携し、一・一運動を推進する。

ウ 体育施設のほとんどが、整備後20年以上を経過していることから、適正管理に努めるとともに、著しく老朽化した施設は、計画的に更新や除却に努める。

(7) 次年度への重点的取組

ア 一・一運動の普及促進

イ スポーツ少年団指導者の確保対策

ウ スポーツ活性化支援員を活用したニュースポーツの普及促進

エ ピンネスタジアムの飛球安全対策

定例会・臨時会議案及び報告

第4回定例会（4月20日）

（1）報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（4月分）について
- ・臨時代理の報告について（新十津川町立学校管理規則の一部改正について）
- ・平成30年度新十津川町立学校主任等の命免について
- ・平成30年度新十津川町一般会計補正予算（第1号）教育予算について
- ・平成30年度新十津川町新規奨学生の選定について
- ・平成30年度新十津川町立小中学校の特別支援学級設置状況について

（2）議案審議

- ・新十津川町特別支援教育連携協議会委員の任命について

第5回定例会（5月15日）

（1）報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（5月分）について
- ・小中学校児童生徒の不登校の状況について
- ・平成29年度滝川市適応指導教室利用状況（後期分）について
- ・平成29年度高等学校等遠距離通学費助成金の申請及び助成状況について
- ・平成29年度中学校英語検定助成等について
- ・放課後学習の状況について
- ・奨学金の収納状況について
- ・平成30年度新十津川町児童生徒就学援助費受給者の認定について
- ・平成29年度新十津川町社会教育関係施設利用状況について

第6回定例会（6月12日）

（1）報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（6月分）について
- ・臨時代理の報告について（新十津川町学校運営協議会委員の委嘱について）
- ・小中学校パソコン教室パソコン購入契約の締結について
- ・スクールバス購入契約の締結について
- ・圧雪車購入契約の締結について
- ・平成30年度児童生徒就学援助費に係る援助費目及び支給額について

第7回定例会（7月12日）

（1）報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（7月分）について
- ・いじめの状況等に関する調査結果について

第8回定例会（8月29日）

（1）報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（8月分）について

- ・ふるさと新十津川に関する調査結果について
- ・平成30年度語学指導等を行う外国青年招致事業による外国語指導助手の再任用について

(2) 議案審議

- ・平成31年度に使用する新十津川町立学校用教科用図書採択について

第9回定例会（9月19日）

(1) 報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（9月分）について
- ・平成30年度新十津川町一般会計補正予算（第5号）教育予算について
- ・平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

第10回定例会（10月23日）

(1) 報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（10月分）について
- ・平成30年度滝川市適応指導教室利用状況（前期分）について
- ・平成30年度新十津川町社会教育関係施設利用状況について

第11回定例会（11月27日）

(1) 報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（11月分）について
- ・教育行政事務の管理執行状況点検・評価報告について

第12回定例会（12月20日）

(1) 報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（12月分）について
- ・平成30年度新十津川町児童生徒就学援助費受給者の認定について
- ・新十津川町学校給食センター調理等業務委託について
- ・新十津川町立学校における働き方改革推進計画（案）について

第1回定例会（1月15日）

(1) 報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（平成31年1月分）について
- ・いじめの状況等に関する調査結果について

第2回定例会（2月21日）

(1) 報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（平成31年2月分）について
- ・平成30年度新十津川町児童生徒就学援助費（新入学準備費）受給者の認定について
- ・体罰に係る実態把握に関する調査結果について

- ・平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
- ・新十津川町立学校喫煙対策に関する指針（案）について
- ・新十津川町立学校に係る部活動の方針（案）について
- ・新十津川町子どものいじめ防止基本方針（案）について

第1回臨時会（3月8日）

（1）報告事項

- ・平成31年度教職員人事異動内示について

第3回定例会（3月26日）

（1）報告事項

- ・平成30年度町内小中学校在籍児童生徒数（平成31年3月分）について
- ・新十津川町立中学校特別支援学級の廃止について
- ・修学旅行の引率業務等に従事する町立学校の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について
- ・平成30年度新十津川町一般会計補正予算（第9号）教育予算について
- ・平成31年度一般会計予算（教育費）について

（2）議案審議

- ・新十津川町地域おこし協力隊（スポーツ活性化支援員）の委嘱について
- ・新十津川町スポーツ推進委員の委嘱について